

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名城大学大学 薬学部

平成 29 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名城大学動物実験取扱要項
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機関内規程として「動物実験取扱要項」を定めている。本要項は、「動物の愛護及び管理に関する法律」「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」「研究機関等における動物実験等における動物実験等の実施に関する基本指針」に基づき、2011年8月20日に制定、実施されている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 該当なし

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名城大学動物実験取扱要項 ● 2016年度名城大学動物実験委員会委員名簿
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験取扱要項に基づき、学長に答申するため、委員会を設置し適正に運営されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 該当なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 動物実験取扱要項 第 11 条において、動物実験責任者は、研究目的、意義およびその必要性や 3 R の原則を踏まえて、毎年、新規・更新を含め、所定の書式による動物実験計画書を薬学部実験動物管理委員会にて審査を受けた後、学長に提出することが定められている。また、動物実験責任者は、学長の承認を受けた後でなければ動物実験を行うことが出来ないと定められている。● 審査、承認、結果報告の実施体制については、同要項の第 12 条において、薬学部実験動物管理委員会と名城大学動物実験委員会で審査または調査すべき事項が定められている。具体的には、申請された動物実験計画書について、関係法令や本要項に適合しているかの審査を行う。また、動物実験計画の実施状況および結果、施設等および実験動物の飼養保管状況など、動物実験の適正な実施のための必要事項に関して調査を行い、最終的には学長に報告または助言する役割を担っている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- 名城大学動物実験取扱要項
- 名城大学動物実験計画書 (別紙様式 1)
- 名城大学組換え DNA 実験計画書 (第二種使用)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- 遺伝子組換え動物を用いた動物実験を実施する場合には、名城大学動物実験取扱要項において関係法令等及び本学の関係諸規定に従うことと定められており、本学においては、薬学部実験動物管理委員会において当該動物実験の審議を受け、更に名城大学薬学部組換え DNA 実験安全委員会の承認を得ないと動物実験を開始できないことになっている。
- 遺伝子組換え動物を用いた動物実験については、名城大学薬学部組換え DNA 実験安全委員会において調査、審議され実施されている。
- 薬学部における感染動物実験については、八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書に基づき実施することになっているが、感染動物実験安全管理規程などは作成されていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

- 組換え DNA 実験や感染実験等における各種動物実験についての実施体制が、名城大学動物実験取扱要項に記入されていないので、盛り込む必要がある。特に、感染動物実験については、一昨年からの改善が見られていないので、感染動物実験安全管理規程や感染実験安全管理委員会などを設置するよう働きかけを行う。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果
<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項● 名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
<ul style="list-style-type: none">● 名城大学薬学部八事キャンパスには、飼養保管施設として、大きく実験動物施設と各研究室に設置されている。飼養保管施設については、動物実験取扱要項の第 13 条において、動物実験責任者 (管理者) が学長の承認を得た飼養保管施設であることと定められており、それぞれの飼養保管施設に管理者が任命されている。また、本要項第 14 条において飼養保管施設の管理要件についても定義しており、それぞれの規程に準じた飼養保管施設として学長より承認されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
<ul style="list-style-type: none">● 該当なし

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

<ul style="list-style-type: none">● 該当無し
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項● 名城大学動物実験委員会議事録● 名城大学動物実験計画書 (別紙様式 1)● 名城大学動物実験経過および結果報告書 (別紙様式 3)● 名城大学薬学部年報
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験委員会および名城大学薬学部実験動物管理委員会は、動物実験取扱要項に基づき、次の事項を審査または調査し、学長に報告または助言する機能を有する。<ol style="list-style-type: none">(1) 動物実験計画書が指針等および本要項に適合していることの審査(2) 動物実験計画の実施状況および結果に関すること(3) 施設等および実験動物の飼養保管状況に関すること(4) 動物実験および実験動物の適正な取り扱いならびに関係法令等に関する教育訓練の内容または体制に関すること(5) 自己点検・評価に関すること(6) その他、動物実験等の適正な実施のための必要事項に関すること
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 2016 年度名城大学動物実験委員会議事録● 2016 年度名城大学薬学部年報● 名城大学動物実験計画書 (別紙様式 1)● 名城大学動物実験経過および結果報告書 (別紙様式 3)● 名城大学薬学部動物実験に関する教育訓練資料
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験計画書の新規・更新については、前年度の 3 月に名城大学薬学部実験動物管理委員会で審査し、薬学部で審査したものを再度、全学の動物実験委員会にて審査し、学長の承認を得るようにしている。● 動物実験経過および結果報告書についても、毎年 4 月に名城大学動物実験経過および結果報告書を薬学部実験動物管理委員会に提出、審査し、全学の動物実験委員会に提出している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項● 名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書● 名城大学動物実験計画書 (別紙様式 1)● 名城大学動物実験経過および結果報告書 (別紙様式 3)● 名城大学薬学部 2016 年度動物実験に関する教育訓練資料
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項ならびに名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書を厳守し、適正に実験が実施されている。● 動物実験に従事する者については、年 1 回必ず動物実験に関する教育訓練の受講を義務付け、適切な動物実験を行うために必要な知識・倫理等を指導している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項● 2016 年度名城大学動物実験委員会議事録● 名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書● 名城大学動物実験計画書 (別紙様式 1)● 名城大学動物実験結果報告書● 名城大学薬学部年報● 名城大学薬学部 2016 年度動物実験に関する教育訓練資料
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 実験動物管理者から、動物実験実施者に対し、名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設作業手順書に則った指導を行っている。● 教育訓練時に動物実験を実施する際に必要な情報・技術を指導している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">● 名城大学動物実験取扱要項● 名城大学薬学部八事キャンパス実験動物施設標準作業手順書
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none">● 指針や基準に適合した適正な施設等の維持管理がなされていると評価される。● 施設等の機器に関しては、まだ施設自体が新しい事もあり、現在は特に機器・設備等に関して問題は無い。● 施設の維持管理に関しては専門業者への業務委託を行っており、委託業者が常駐し施設を管理することで、施設内の安全・衛生面の環境が保持されている。● 施設の修理に関しては、突発的な事象にも対応出来るように予備費として予算を計上している。● 改善計画については、必要に応じて薬学部実験動物管理委員会にて提言されている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">● 該当なし

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ● 名城大学薬学部 2016 年度動物実験に関する教育訓練資料 ● 名城大学薬学部 2016 年度教育訓練受講者リスト
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
<ul style="list-style-type: none"> ● 動物実験に従事するもの、実験動物施設を利用するものについては、必ず年 1 回の教育訓練の受講を義務付けている。受講しなかった場合は、実験動物施設の入口の IC カードのセキュリティーを解除しないことになっている。
4) 改善の方針、達成予定時期
<ul style="list-style-type: none"> ● 該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ● 名城大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
<ul style="list-style-type: none"> ● 名城大学ホームページ
4) 改善の方針、達成予定時期
<ul style="list-style-type: none"> ● 公私立大学実験動物施設協議会に加入したが、十分な情報公開ができていない。薬学部としては必要な情報を名城大学研究支援センターに提供済みであり、情報公開するよう要求する。今後は、薬学部のホームページで独自に情報公開することを検討する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

- 名城大学薬学部では、可能な限りエーテル吸入による吸入麻酔や安楽死方法を避け、イソフルラン吸入麻酔器を使用すること、また、安楽死方法としては炭酸ガス吸入装置を選択することを推奨している。